

播磨まちかどニュース

With いなみ野学園

瓦版



兵庫県いなみ野学園では、大学院生などの受講生が自主制作として、地元ケーブルテレビ局「BAN-BANテレビ」と協働し、テレビ番組「播磨まちかどニュース With いなみ野学園」を制作しています。学園内外の魅力的な活動を映像で紹介する15分の番組です。瓦版では、これまでの配信動画の内容を紹介しています。

★★最新の配信動画★★

現在、いなみ野学園ホームページに掲載している動画をご紹介します。

播磨まちかどニュース with いなみ野学園 116

令和8年 午年の初詣

◆配信日：令和8年2月1日◆



今回は、午年のスタートにあたって、新年の「初日の出」、「初詣」の様子をお届けします。



撮影地：高御位山から
2026.01.01.



撮影地：国安天満神社から
2026.01.01.



撮影地：生石神社から
2026.01.01.

今年は「午年」。その午年は、気力高まるパワフルな年。繁栄や成功をもたらす縁起のいい年とのこと。馬にあやかっ、今年も一年、思いつき駆け抜けていきたいものですね。

そんな新年を飾る播磨地域の「初日の出」

や「初詣」の様子をお伝えしましょう。

初めは、「初日の出」から。高砂市の高御位山での「初日の出」。稲美町の国安天満神社、そして高砂市の生石神社からの「初日の出」です。

午前7時12分頃に、天気もよく穏やかな中、光り輝いて顔を見せた朝日に、「今年こそ世界中がよい年に！！」と心から願わずにはおれませんでした。新年を祝うにふさわしい「初日の出」で、すばらしいスタートとなりました。



撮影地：生石神社から
2026.01.01.

続いて今度は、播磨各地の「初詣」をお伝えしましょう。「初詣」の最初は、高砂市の生石神社からです。生石神社は、「石の宝殿」の巨大な石造物がご神体で、「日本三

奇」と呼ばれるその一つです。



次は、高砂市の高砂神社です。

高砂神社は、今から約1700年前に神功皇后が大

国主の神を祀ったのが始まりと言われていま



続いて、高砂市の曾根天満宮です。

この神社は、

菅原道真を主祭神とする天満宮です。また「曾根の松」は菅原道真が手植えしたと言われていま



次は、加古川市の浜の宮天神社です。

こちら「学問の神様」菅

原道真公を祀る神社です。隣接する浜の宮公園は「加古川市の木」に指定されている黒松が3000本群生しています。



続いて、播磨町の阿閑（あえ）神社です。海上交通の守護神

で、息長帯比売命（おきながたらしひめのみこと）〈神功皇后の別名〉を祀っています。



続いては、高砂市の鹿嶋神社です。鹿嶋神社は、「一願成就の

神」として地元では篤く崇敬されています。

そして、「初日の出」でも出てきました国安天満神社の「初詣」です。ここは、菅原道

真公が大宰府に左遷され九州に向かう途中で



休息したと伝承される神社で、隣接する天満大池の守護神です。

如何でしたか。新年にふさわしい播磨各地の「初日の出」、「初詣」の様子を紹介しました。どこも多くの参拝客でにぎわっていましたね。みなさんも、「私も同じところに初詣をしてきたよ」とか「そこは初めてだったけど、とても新鮮な気持ちでお参りができたよ」と言われる方もおられたのではないのでしょうか。

令和8年の午年。特に今年は60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年。「火」の要素が加わり、強いエネルギーで道を切り開く、そんな力強くポジティブな運気の年です。

「うまくいく」の語呂合わせや、「馬が合う」などと日常会話にもよく使われます。

「うまくいく」の幸運や「馬が合う」との円滑な人間関係を暗示しています。今年は、みなさん何でも「うまくいく」年で、お互い同士も「馬が合う」、そんないい年なのですね。「前進」、「発展」、その先に「成功」、今年はそんな「午年」なのです。

そこでひとこと、「うまくいくぞと念じ馬が合うから楽しいよ」と、うまくまとめる。

今年も一年、健康で安全に送れることを心より願います。どうぞ、みなさん、お互い楽しい一年にしましょうね。

私たちも、更に、いい番組放送ができるように頑張ります。今年もどうぞよろしくお願ひします。



（ナレーショ 大前小夜子）



第1回 冬のつどい 『輝け！ 生涯青春』

◆配信日：令和8年2月16日◆

今回は、昨年末に行われました、いなみ野学園同窓研修会の「冬のつどい」の様をお伝えします。これまで16回開催してきました「夏のつどい」でしたが、近年の異常な暑さを考え、今年度から「冬のつどい」として名前も、時期も変えて開催しました。

令和7年12月20日（土）、「地域&世代間交流～仲間と学び・つどえる同窓研～」をテーマに「冬のつどい」が行われました。



9時開会。初めに、主催者を代表して金山實同窓研修会会長のあいさつがありました。

「平成19年から途中コロナ禍での中止もありましたが、16回を数えた「夏のつどい」から、12月開催の「冬のつどい」に変更しました。10年続けば地域の風物詩となると言われるように地域に根差した「夏のつどい」でした。それを受けて「冬のつどい」もどうぞみなさんのご協力で継続していきたいものと願います」と話されました。



続いて、来賓として橋本正人生きがい創造協会兼いなみ野学園学園長の祝辞です。「日頃の活動の成果、練習の成果を十分発揮して、、、と心から願います。また地域の方々との交流を積極的に図って下さい。併せて、元気なシニアの姿を、学園の魅力を感じていただける祭りにして下さい」と話されました。

今回のイベントは、いなみ野学園同窓研修会が主催し、地域のシニアの方々との交流を促進することを目的としています。今年度は「冬のつどい」として、地域に根差したイベントを開催しました。



プログラムのオープニングを飾ったのは、兵庫大学附属加古川幼稚園の園児たちの合唱です。年長組73名の子どもたちが、舞台上で元気いっぱいの歌声を聴かせてくれました。また今回は手話も披露してくれました。

大きく口を開けて、力いっぱいに歌う子どもたち、その歌声に自然と大きな拍手がわきました。見ている側の私たち高齢者も元気をもらいました。



その後は、いよいよ「演芸大会」の始まりです。盆

踊り、詩吟、マジック、男声合唱D BB+1、太極拳サークルなどと続き、日頃の練習の成



踊り、詩吟、マジック、男声合唱D BB+1、

太極拳サークルなどと続き、日頃の練習の成

果を思いっきり披露しました。その都度、会場のみなさんから、頑張りをたたえて大きな拍手が沸き上がっていました。踊りや合唱、演武やダンスなどなど、出演したみなさんも「やりきった！！」という満足感と達成感が表情に表れていました。



ゲストとしてハーモニカの高岡さん、三線 AKG の三線演奏、インチウォームによる「ゴスペル風合唱」、県立農業高校の「吹奏楽」のみなさんの合唱や合奏があり、会場を大いに盛り上げてくれました。

演芸発表以外では、大講堂で「作品展」が行われ、絵や習字、写真や手芸など、仲間と共に楽しみながら取り組んできた力作の作品展示も行われました。また、普通教室では、「お楽しみコーナー」として、マジックや昔遊びのコーナー、囲碁・将棋のお好み対局、お茶席があり、ふれあい館ではカラオケ大会も行われました。



午後の最初は、先のインチウォームの合唱があり、銭太鼓・新舞踊・紙芝居などと続き

ました。



最後は、光田 守「冬のつどい実行委員長」のあいさつ、

「冬のつどい」を無事成功裡に終えることができました。次年度以降も継続していけるよう、みなさん方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。Next year, see you again !」で全て

が終わりました。

大勢の参加で大いに盛り上がった今回の「冬のつどい」。園児たちの歌声から元気ももらい、県農プラスバンドによる素晴らしい演奏でパワーをもらい、私たちの各団体の演技や合唱から、がんばる勇気をもらいました。若い人たちの参加があり、3世代が一緒になって楽しめ、地域のみなさんの参加も得て、今回の第1回「冬のつどい」は、無事に成功裡に終えることができました。みなさんのご協力に感謝します。有難うございました。

そこでひとこと、「演じる場、発表の場こそ生きがいづくり、「冬のつどい」はそこにある」みんなで一緒に楽しめた「冬のつどい」、また次年度、お会いしましょう。そして、次の発表に向けて、新たな一歩を踏み出しましょう。



(ナレーション 吉川 千代子)

【いなみ野学園 動画配信ホームページ】

https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/video/video_inamino_summary.html

《編集・発行》 なみ野学園ビデオ制作委員会 (いなみ野学園大学院講座・研究生)

☎ 079-424-3342

